

神奈川県立金沢養護学校



学校だより

第124号 平成29年6月28日

第1回避難訓練(火災想定)を実施しました

～消防署と連携し、より安全な環境へ～

教頭 峰尾 智子

新学期が始まり約3ヶ月。プールの授業が始まりました。

先月の第123号では「シーサイド学園 津波に備える ☎0456 7.8m へ」と題して津波に対する備えについてお知らせしました。本校では、火災避難訓練を年1回、地震避難訓練を年4回(そのうち2回は抜き打ち)実施しています。また、日頃から全教室に避難経路と避難の心得(おさない・かけない・しゃべらない・もどらない)を掲示し避難方法についても確認を行っています。

124号では、5月31日(水)に火災を想定した第1回避難訓練についてお伝えします。

〈訓練の様子〉



今回の訓練は、厨房からの出火を想定して行われました。まず、職員室に「出火」「消火困難」の連絡が入り、火元に近い教室の児童・生徒への避難指示の放送があったところから訓練が始まりました。

児童・生徒はヘルメットをかぶり、ハンカチ等を口に当て、バスロータリーに落ち着いて避難することができました。避難にかかった時間は6分でした。

この日は、児童・生徒の搜索訓練も行われましたが、教員が搜索している間も落ち着いて待つことができました。

避難訓練の後、消防署の方にお話を伺いました。「防火建物の場合、延焼速度は遅いが煙が怖いこと」「火事の場合多くは火を見ることがないが、落ち着いて避難すること」「戻らないことが大切であること」等のお話がありました。

また、消防車が駆け付けた際の校門内への入り方についても確認することができました。

訓練の成果を発揮する場面が起きないことが最も大切なことではありますが、万が一の際は、訓練どおり素早く安全に避難できるよう職員一同心がけていきます。